

あさくち

議会だより

No.42

令和元年7月1日発行

令和元年 6月定例会

- 6月定例会 補正予算 …………… ②
- 主な議案 …………… ③
- 議案に対する賛否 …………… ③
- 委員会レポート …………… ④
- 一般質問 市政を問う！ …………… ⑤

6月定例会は、5月28日から6月13日までの17日間の会期で行われました。

6月定例会

**増額補正 2,035万円(第2号) 専決処分
1億5,050万円(第3号)**

**令和元年度一般会計予算の総額は
149億7,005万円**



イノシシに荒らされたため池の堤



市道大島線を拡幅

補正予算

歳出の主なもの

区分	事業名	事業の概要	補正額
総務費	地域おこし協力隊事業	都市部から人材を誘致し、地域資源の発掘や情報を発信	200万円
民生費	児童虐待防止体制強化事業	児童虐待防止のため家庭児童相談員を追加配置	198万円
衛生費	予防接種事業	39歳～56歳の男性に対する、風しんの抗体検査・予防接種を推進するための無料クーポンを配付	498万円
農林水産業費	有害鳥獣駆除事業	狩猟者に対し、銃所持許可申請手数料等を助成	14万円
	農業用ため池防護柵設置事業	農業用ため池へのイノシシ等の侵入を防止する防護柵の設置補助	220万円
商工費	着地型旅行商品開発支援事業	地域資源を活かし、市内への観光客誘致を行う民間事業者に対する支援	100万円
土木費	道路新設改良事業	市道大島線ほか1路線の整備	9,485万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

歳入の主なものは、合併特例事業債8,550万円など。

主な議案

条例

○憩いの広場条例の一部改正

【原案可決】

土砂崩れにより使用できなくなった上竹ちびっこ広場を、別の場所に移転して供用するもの。



上竹ちびっこ広場

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

【原案可決】

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正等に伴い、条例の一部を改正するもの。

○消防団条例の一部改正

【原案可決】

消防団員の処遇改善の一環として、各種出動手当額の増額を行うもの。

人事

○農業委員会委員の任命

【同意】

農業委員会委員に大橋浩治氏を任命することに同意しました。

その他

○岡山市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増減及び岡山市町村総合事務組合規約の一部変更

【原案可決】

地方自治法第290条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

○過疎地域自立促進市町村計画の一部変更

【原案可決】

過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項において準用する同条第1項の規定により、議会の議決を求めるもの。

発議

○新たな過疎対策法の制定に関する意見書

【原案可決】

過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月末に失効することに伴い、引き続き総合的な過疎対策を実施するよう、国へ意見書を提出するもの。

議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

【○】賛成、【×】賛成でない、【-】不参加、【欠】欠席

議案名	議員名	浅口朋進会							日本共産党 浅口市議員団	政和会		無会派					議決結果	
		中西 美治	大西 洋平	伊澤 誠	藤井 立子	石井由紀子	山下 周吾	桑野 和夫	沖原 有美	井上 邦男 (議長)	藤澤 健	香取 良勝	大西 恒夫	青木 光朗	竹本 幸久	佐藤 正人		横山 達士
発議第 3号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	原案可決
承認第 3号	専決処分した事件の承認(税条例等の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第 4号	専決処分した事件の承認 (国民健康保険税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第 5号	専決処分した事件の承認 (介護保険条例の一部改正の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第 6号	専決処分した事件の承認 (和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第 7号	専決処分した事件の承認 (和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第 8号	専決処分した事件の承認(上告の提起)	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第 9号	専決処分した事件の承認 (令和元年度一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	承認
同意第 4号	農業委員会委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第 38号	憩いの広場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 39号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 40号	消防団条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 41号	岡山市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増減及び岡山市町村総合事務組合規約の一部変更	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 42号	過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 43号	令和元年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 44号	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※議長は採決に加わりません。

委員会レポート

総務文教常任委員会

人工芝フットサル場を視察

○5月15日

今後の委員会審査の参考とするため、所管施設である本年1月にリニューアルオープンしたフットサル場及びスポーツ施設人工芝等整備事業予定地の三ツ山スポーツ公園運動場を視察。

フットサル場では、新しくなった施設の概要、三ツ山スポーツ公園運動場では、人工芝等の整備計画について説明を受けました。



民生常任委員会

障害者支援施設「あお空」を視察

○5月10日

当委員会の所管施設で、金光町佐方にある障害者支援施設「あお空」を視察しました。

まず、運営団体である社会福祉法人明光会について説明を受け、続いて「あお空」の活動と施設の紹介を受けました。

市内外からの入居者があり、重度障害の方が多く、また高齢化も問題となっているようでした。

相談支援事業も行っているが、相談が多くなり、そのことが経営を圧迫しているとのことでした。



産業建設常任委員会

金光駅周辺整備事業を視察

○5月13日

金光駅周辺整備事業の現地視察を行い、南口工事の進捗状況について説明を受けました。利用者の安全と利便性を考慮し、施設整備を進めているとのことでした。

工事は昨年7月豪雨災害の影響で遅れているため、工程を見直し、来年度末の事業完了に向け、今後もしっかりと管理していくとの報告を受けました。



一般質問

市政を問う!

6月定例会では、
9人の議員が一般質問で市政を質しました。



香取 良勝

質問項目

- 天草池の埋め立てについて
- 金光町の区長制について

天草池の埋め立てについて

問 埋め立ては国道2号バイパスの工事により発生する石を活用することだが、なぜ平成27年度から3年間、何もしなかったのか。一年でも早く、市民のため早急にできないのか。

答 埋め立ては国道2号バイパス工事など、県や国の公共工事で発生する石を利用して、平成28年から行っている。石を埋め立てた後、真砂土で埋め立て、排水管の設計・工事の後、舗装を行うなど、早急に進めたい。

問 現在、天草中央公民館の裏にヘリポートがあるが、全然使えない。天草池の埋立地をドクターヘリだけでも降りれるようにするべきではないか。

答 埋立地は駐車場として使用する予定。天草公園駐車場のヘリポートは、防災ヘリ用に県が指定している。ドクターヘリの離発着場は、今までも支障はないので、現状のまましていく。

金光町の区長制について

問 金光だけ12区の区長制がある。区長が権限を持って各種委員を決めているが違法ではないのか。区長1人についていくらかは払っているのか。また鴨方・寄島にもこの制度はあるのか。

答 行政協力業務委託ということで、合併前から継続している。区長と契約をして、年間5万円を支払っている。鴨方・寄島には町内会といったような地区組織があるが、行政協力業務委託のような契約は行っていない。

問 同じ浅口市で、なぜ金光も鴨方・寄島と一緒にできないのか。行政は公平にすべきでは。

答 協議会型住民自治組織の設立を呼びかけており、金光の区長制はある意味モデルケースである。このような体制が鴨方・寄島で整えば、委託契約を結ぶことも考えている。



佐藤 正人

質問項目

●都市計画道路川手鴻之巢線の整備について

●豪雨時期に備えての災害対策は

問 都市計画道路川手鴻之巢線の整備について

答 3月19日に浅口金光ICから国道2号までが供用開始され利便性がとてもよくなった。国道2号より北側の川手鴻之巢線整備はどうなっているか。浅口市としての必要性、県への要望等はどういう状況か。

答 岡山県には毎年の事業要望調書で要望している。川手鴻之巢線は市内の主要拠点や広域交通拠点を結ぶ地域連携軸となる道路である。将来的な市の発展に必要な道路の1つであり、県との交渉では事業主体や時期等は決まっていないが玉島笠岡道路の整備や交通の変化、市の財政的負担等踏まえて引き続き要望を継続していく。

問 豪雨時期に備えての災害対策は

答 昨年7月の豪雨災害の市内での浸水対策、水位上昇に備えての里見川の安全対策、金光町占見新田、八重地区の浸水対策は

どうなっているか。

答 7月豪雨により多くの土砂が流入した河川は、管理者である県が浚渫や被害箇所への修繕工事を行ってきた。排水ポンプの点検、仮設ポンプの設置、中川水系の水門の電動化など、排水作業の効率化を図っている。

水位観測施設は、新たに六条院中丁と支流の鴨方川に県が設置した。金光町占見新田付近に河川監視カメラを設置し、画像情報を提供する予定である。床上、床下浸水があった占見新田、八重地区では、県と現地を調査し、かんがい期、増水時に撤去不可能な制限樋は使用を禁止する。

まとまった雨量が予測される場合や台風直撃の恐れのある場合、玉島港の昭和水管の閉閉に合せて、事前に新川の水位を下げる作業や新川排水機場のポンプ施設の操作方法を見直しする。早期段階で排水ポンプ稼働が行えるように対応したい。



藤井 立子

質問項目

●教育の取り組みについて

●子どもたちへの猛暑対策は

問 教育の取り組みについて

答 キラリと光る未来プロジェクトとはどのようなものか。

答 本市では、平成25年度から学力向上No.1プロジェクトに取り組んできた。その成果も踏まえ、新学習指導要領の完全実施に伴い、中学校単位の小中一貫教育とコミュニティスクールの2つの柱を推進していく。学校・家庭・地域の協働による教育活動を推進していくもの。

問 来年度から必修化されるプログラミング教育とはどのようなものか、その対応は。

答 プログラミング教育とは人がコンピューターを動かすために命令を与える力を育む教育のことであり、本市としては平成29年度から人型ロボットを導入し先行実施している。また、県教委の小学校プログラミング教育講座へ担当教員を派遣するなど指導者の育成に取り組んでいる。

問 子どもたちへの猛暑対策は

答 体育館など屋内運動施設の暑さ対策は。

答 市内10校の体育館には昨年度に網戸を設置。大型扇風機で熱気を外に逃がすようにした。また、学校以外の体育館・武道館についても網戸を設置、空気の流れを良くしている。プールではスポットクーラーを活用し温度を下げる工夫をしている。

問 猛暑により動いて遊べる場所がなくなった子どもやお母さんの涼しい居場所づくりは。

答 今年7、8月に天草公園体育館においてアリーナと冷房設備のあるミーティングルームを無料開放し、子どもの遊び場、親同士の交流の場として活用していく。また、天草公園内のジャブジャブ池、かもがた町家公園の水遊び場の利用可能期間の延長も考えており、涼しい環境を整えたい。



沖原 有美

質問項目

- 天文のまちあさくちの推進について
- 小児予防接種費給付について
- 手話言語条例について

問 天文のまちあさくちの推進について

答 岡山天文博物館は2018年3月にリニューアルオープンし、市内外からたくさんの方々に楽しんでいただいている。イベントのスペースを確保しては、

答 建物の増築や改修は難しいので、今の建物を工夫することでスペースの確保に努める。

問 天文観測に支障のないようLED街灯に傘を付け、配光を抑制しては。

答 平成30年度から防犯灯を新設、更新する場合は遮光板を設置している。現在のLED街灯の設置数は2228灯、内195灯に遮光板を設置している。

小児予防接種費給付について

問 浅口市では子供が県外の医療機関で予防接種を受けると、全額自己負担となっている。里帰り出産や病気療養等で市内での生活が難しく、県外の実家に長

期滞在した場合に、県外での小児予防接種費用の償還払いの制度を作っては。

答 市として、子育て世代の負担を少しでも軽減するために、また少子化対策の一環として県外での小児予防接種費用の償還払いによる補助制度の創設を早急に進める。

手話言語条例について

問 3月議会で可決、制定した浅口市手話言語条例を有効あるものにするための今後の方向性は。

答 平成29年度に全国手話言語市区長会へ加入し、必要性を十分理解して手話言語条例を制定した。条例制定に伴う新年度予算に、手話奉仕員養成講座の講師資格取得費用を計上。広報紙に手話コーナーを新設。市役所に耳マークの表示設置。災害発生時には、登録者にFAXで情報を送信するなど取り組んでいる。今後は市民や市職員の手話への理解及び普及を積極的に進める。



大西 恒夫

質問項目

- 水道料金値下げのために
- 都市計画道路川手鴻之巣線の経過と今後について

水道料金値下げのために

問 水道料金を値下げするために利益を出すこと、経費の削減をやらなければならない。利益を出すために浅口市は金光地区の水道を西南水道企業団から給水することにメリットがあるのではないか。2市1町の水道を一元化した時、どれだけメリット・デメリットがあるか計算して示していただきたい。

答 水道料金値下げのためには経費の削減を図り、利益を出すことが必要であると認識している。2市1町の水道の一元化については組織、料金形態等さまざまなものが各市町で異なっている。一元化する場合、関係市町との協議や調整が必要となり、この算定を浅口市だけで行うことはできないため、メリット等を計算し示すことはできない。

都市計画道路川手鴻之巣線の経過と今後について

問 現在の都市計画道路(川手鴻之巣線)はいつ計画が変更され、その時市としてどのような対応をしてきたか。また今後の進め方は。

答 鴨方インターから仏堂付近の県道東安倉鴨方線に接続する都市計画道路、新橋仏堂線がありその後、国道2号バイパスの計画が進む中、バイパスの側道へ直接接続するために廃止し、新たに川手鴻之巣線として平成20年8月21日に都市計画決定している。

市の対応は、説明会の開催や計画案の縦覧、都市計画審議会への諮問、県知事の同意など都市計画法に基づき手続きを実施している。今後の進め方は国道2号から北側の整備に関して関連道路の整備や交通の変化、市の財政的な負担等の問題もあるが、県に対し整備を要望している。



石井由紀子

質問項目

- 浅口市の交通サービスについて
- 「天文のまちあさくち」の取り組みについて

浅口市の交通サービスについて

問 アンケートの集計結果からどのような見解を持ったか。

答 今後運転免許証の自主返納等により移動手段のない高齢者が増加し、買い物、通院を目的に浅口ふれあい号の利用者の増加が見込まれる。ふれあい号の果たす役割がますます重要になると考えている。

問 「交通サービス全般及び浅口ふれあい号に関するご意見」に対する見解は。

答 タクシーの利用助成を望む声が多かったが、財政的に導入は難しい。有料化については、運賃収受の事務コストの増加など問題も多い。ルート改善については、目的地までの時間短縮を求める声が多くあり、利用の少ないバス停の統廃合を含め、改善を検討する必要がある。今後ふれあい号を実際に利用している方に聞き取り調査を行い、利便性の向上を図る。

「天文のまちあさくち」の取り組みについて

問 発信するための企画は。

答 宙（そら）ツーリズム推進協議会に7月加入予定で、天文に関心を持つ方に直接アピールが可能になる。また、JAFと観光に関する協定を締結し、会報誌やウェブサイトで浅口を発信する。天文台や遙照山周辺に特化したパンフレットを作成し、県アンテナショップや岡山駅観光センターに配置。宇宙・星自然講座を復活させ、子ども向けだけでなく一般向け講座も行う。

問 浅口市日本一の天体観測適地を守る条例への取り組みは。

答 ライトダウンin天文のまちあさくちと題したキャンペーンを行っており、期間中は屋外体育施設の利用を中止している。新月にはテニスコート照明も消している。市民、企業の皆さんが天文のまちを感じ、まちづくりに活かせるよう努力する。



桑野 和夫

質問項目

- 本庁・総合支所(分室)のあり方に関する基本計画について
- 大谷のまちづくりについて
- 特殊詐欺について

本庁・総合支所(分室)のあり方に関する基本計画について

問 基本計画の変更の経過と利便性の確保、庁舎の空きスペースの活用は。

答 平成30年3月策定の基本計画では令和2年度末までの新体制スタートとしていた。その後、既存の施設を活用するとの基本方針を念頭に、課の編成や総合窓口設置の健康福祉センターの改修等検討していたが、スペースの確保や職員の配置など最善の市民サービス提供には課題も多く、また合併特例債発行期限が5年間延長されたこともあり、一年延期を目的に再検討を行っている。

来庁の交通手段である「浅口ふれあい号」の利便性の向上や金光・寄島総合支所の空きスペースの有効活用を更に検討していく。

大谷のまちづくりについて

問 現状及び今後の方向性は。

答 金光駅の整備による波及効果を期待したい。現在、地元住民や金光教関係者で結成した大谷地区元気いっばいまちづくり協議会による空き家・空き店舗の再生事業や各戸へ提灯設置を促す「明かりプロジェクト」を行っている。今後も備中町並みネットワークとも連携し、賑わい創出と活性化を目指していく。

特殊詐欺について

問 市内での被害の実態、今後の対策はどうか。

答 市内では昨年、被害が数件出ている。消費生活センターへの相談は年々増加しており、弁護士資格を持った相談員の対応や出前講座などを行っている。今後の対策としては、詐欺防止に有効な留守番電話器具購入等の補助制度を検討している。



山下 周吾

質問項目

- 浅口ふれあい号の現状と今後について

浅口ふれあい号の現状と今後について

問 平成30年12月に実施した「交通サービスに関するアンケート」で、浅口ふれあい号を知っていても利用率が低いことの結果をどう考えているか。

答 自家用車になった方々が時間やルートが定められたバスの運行形態を不便に感じていると推察する。しかし今後高齢化の進展に伴い運転免許を持たなくなる潜在的利用者も考えられ、ニーズが上がってくるものと思われる。

問 国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業は活用されているか。またこの事業を公共交通会議で検討したか。

答 持続可能な地域公共交通ネットワークの実現に向けた取り組みを支援するもので、寄島と新倉敷を結ぶ路線バスは対象となっていないが、ふれあい号は要件に該当していない。このため、

公共交通会議にも諮っていない。

問 街や地域の活性化のため新たな計画の道筋をたてる地域公共交通網形成計画を策定しては。

答 浅口市は道路運送法に基づき公共交通会議を設置している。今後、公共交通網を抜本的に見直す必要が生じた場合に検討していく必要があると考える。

問 市街地までの基幹バスと末端部の支援バスに分類し、乗り換え循環型の路線を作ってはどうか。主要路線は直行や快速便、主要路線外は停留所までふれあい号を走らせることで主要路線の活性化になり市の発展が期待されるのでは。

答 現在のふれあい号の持つ福祉的な側面を維持し、目的地まで短時間で行ける直行便のメリットを認識しているが、現状の運行体制で充実を目指していく。

浅口市の保有する遊休固定資産の現状と利活用について



伊澤 誠

質問項目

- 浅口市の保有する遊休固定資産の現状と利活用について

問 保有している普通財産の遊休資産、土地の箇所数と総面積は。また、貸し付け、売却に出されている箇所数と面積は。

答 普通財産は610筆。山林含め56万1000㎡うち37万1000㎡を貸し付けている。現在売却予定の物件はない。

問 今後、遊休資産、市有財産の利活用をどうしていくのか。

答 中・長期的な視点を持って検討を重ね利活用の見込みのない遊休資産は売却していく予定。金光町給食センター跡地は売却に向けて準備をしている。

所有者不明土地の管理について

問 所有者不明土地にかかる固定資産税上の件数と解消に向けた取り組みは。

答 平成29年度40筆で不納欠損処分は14件25万円。国からの特別措置法などを注

防災対策について

視しながら、確実な登記手続き案内や制度周知を図っていく。

問 防災意識の向上と防災基本条例を策定しては。

答 ハザードマップを市内小学校に配布。防災イベントや出前講座などさまざまな方法で情報提供、普及啓発を行っている。防災基本条例は地域防災計画を念頭におき、近隣自治体の状況を注視しながら研究していく。

問 備蓄品の量とその使用状況は。

答 国の計画に基づいて、3日分の備蓄を目標に毎年計画的に購入し、今年はアレルギー対応食も備蓄する。

問 災害受援計画を策定しては。

答 今後の重要課題と考えてはいるがまずは、昨年度策定予定であった業務継続計画の策定を急ぎたい。また、災害受援計画策定までは災害時相互応援協定等の運用を考えている。

春の叙勲

田口桂一郎さんが
旭日小綬章を受章



田口さんは、平成7年に鴨方町議会議員に初当選し、町議会議員を3期11年、合併後も浅口市議会議員として3期12年間在職。両議会で議長を務めるなど、地方自治の発展にご尽力されました。

高齢者叙勲

三宅幸喜さんが
旭日単光章を受章



三宅さんは、昭和62年の初当選から3期12年間、寄島町議会議員として在職。副議長を務めるなど、地方自治の発展にご尽力されました。

議員表彰

中国市議会議長会表彰

- 中国市議会議長会定期総会において、本市議会議員が表彰を受けました。
- 議員特別表彰
 - 大西 洋平 (在職44年以上)
 - 藤澤 健 (在職16年以上)
 - 井上 邦男 (在職32年以上)
 - 中西 美治 (在職16年以上)

傍聴へお越しく下さい

(本庁舎3階)

傍聴は、議会活動にふれることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽に傍聴へお越しください。

なお、次回の9月定例会は、8月27日に開会予定です。会議の日程は、8月下旬に議会運営委員会で決定され、ホームページで公表します。



浅口市議会 検索

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。必要な方は社会福祉協議会へお問い合わせください。

☎0865-441-7744

表紙写真

五月晴れの中、小学校で運動会が開かれ、子供たちは練習の成果を発揮していました。



頑張った後のおにぎりはとてもおいしかったです。

広報特別委員会委員の異動

横山達士議員が3月15日付で広報特別委員会委員を辞任しました。

広報特別委員会

- 委員長 伊澤 誠
- 副委員長 佐藤正人
- 委員 沖原有美 山下周吾
- 石井由紀子 藤井立字
- 中西美治



議会だよりは再生紙を使用しています

